

庚寅神無月八日
無涯塾師範 廣瀬敏男

われくちき あら
吾朽木に非ずや

中国の古い諺に、

「朽木ハオルベカラズ 糞土ノショウハ朽ルベカラズ」
と、いうのがある。

訳すれば、

「腐った木は彫刻のしようがない。ボロボロ腐った土壁に上塗りしてもしようがない」
という意味である。

即ち、

「精神の腐った者に教育のしようがない」
ということである。

この齢になって焦りがあるのか、自分は朽木になっていないか、或は腐った土壁に陥つてはないだろうかと迷う。

緊張のない生活をしていると朽木になり、糞土のショウになりはしないかと心配している。

そうならない様に居合をしているのだが、思うようになっていないようである。

歳と共に肉体はおろか精神までも劣化させてはならないと自戒している昨今である。

九月十日記載の、「居合の数寄者の条件」。

十月一日の、「心是道」の中段で記述したが、先ず「心」と、「人間性」。
そして、

九月二十四日の、「自力弁道」の中ほどの「大悟」。
いま起稿している、

十月十日予定の、「心で学ぶ」。
を、思い返して自分を固めたいと思っている。 了